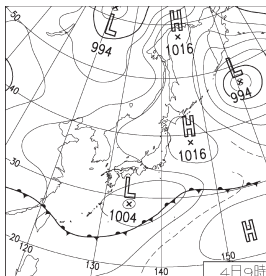


# 日々の天気図

— No. 53

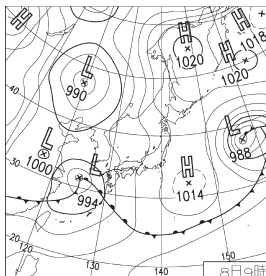
## 2006年6月

- ・1日～2日、前線の影響で鹿児島県上屋久町320.5 mm/24 hの大雨。
- ・10～13日、長雨の影響で沖縄県各地で地盤浸食、土砂崩れ、地滑り。
- ・15日～16日、西日本大雨。高知県香美市311 mm/日は6月の極値。
- ・18日、前線の影響で沖縄県与那国町96.5 mm/1 hの猛烈な雨。(気象庁予報部予報課)



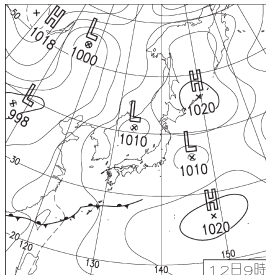
### 4日(日)関東は引き続き曇り

三陸沖の高気圧に覆われ、北日本を中心に晴れるが、関東は湿った東風が入り雲が多く肌寒い。西日本では南海上を低気圧が東進、概ね曇り、九州南部や南西諸島は雨。



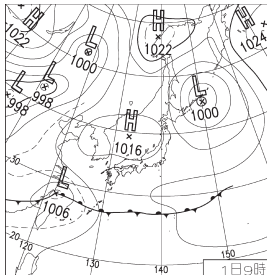
### 8日(木)西日本・東海梅雨入り

東シナ海には前線を伴った低気圧が東進。ほぼ全国的に曇りや雨。梅雨前線の活動が活発化。九州南部で豪雨、鹿児島県上屋久町で144.5 mm/3 h。



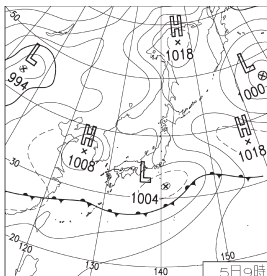
### 12日(月)大分県西部でM6.2

梅雨前線沖縄付近で活発。沖縄県久米島町で53.5 mm/1 hの非常に激しい雨。千島付近の高気圧北日本を覆い、太平洋側は4月中下旬並みの気温。大分県愛媛県広島県で震度5弱。



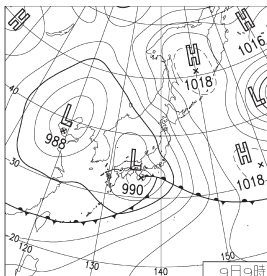
### 1日(木)高気圧 日本付近を覆う

日本海に移動性高気圧。東北から九州まで概ね晴れて、東海・近畿で真夏日、静岡県浜松市佐久間で34.0°C。東シナ海と北海道の東に低気圧、沖縄、奄美、北海道で雨。



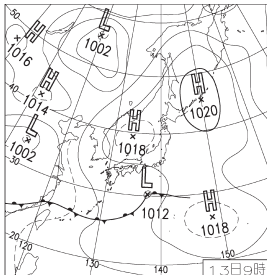
### 5日(月)南海上の前線活発化

南西諸島は雨、沖縄県伊是名村で朝方に58.5 mm/1 h。その他の地方は、黄海の高気圧がゆっくり東進し、概ね晴れたが、北海道北部と関東の一部で曇り、平年より3～5°C低い気温。



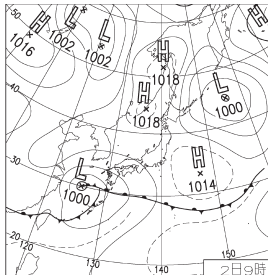
### 9日(金)東北南部まで梅雨入り

前線上の低気圧は本州南岸を北東進。雨も東に移り北日本へ。九州では午後には晴れ、関東南部、北陸の一部や南西諸島では日中に気温が下降。最高気温を午前中に記録した所も。



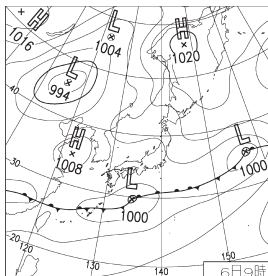
### 13日(火)海霧の季節

衛星では日本海、オホーツク海、三陸沖～釧路沖まで広範囲にわたり海霧を観測。北・東日本の太平洋側で曇りの他は概ね晴れ、西日本は各地で真夏日。福岡市でノダフジ開花。



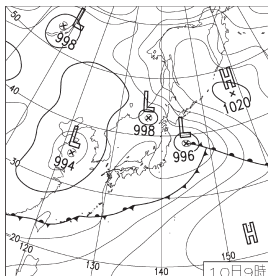
### 2日(金)屋久島で激しい雨

日本付近には冷たい北東気流が入り、東北南部・北陸で晴れた他は全般に曇りや雨。前線が通過した鹿児島県上屋久町で、304.5 mm/日の大雨、35 mm/1 hの激しい雨を伴う。



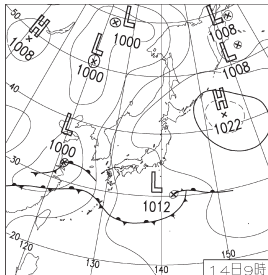
### 6日(火)本州中部で雷雨

北から高気圧に覆われ、朝の内は全国的に曇り、日中はほぼ晴れ。夕方から本州中部、東北日本海側で雷雨。梅雨前線が停滞した鹿児島県瀬戸内町古仁屋で156 mm/24 hの大雨。



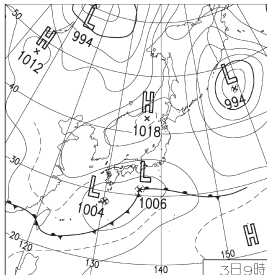
### 10日(土)前線沖縄付近で活発

梅雨前線は南西諸島沿いに停滞。三陸沖と日本海北部には低気圧があつて共に北東進。北海道と南西諸島は大雨。他の地方は概ね曇り。沖縄県多良間村宮良で71 mm/1 h。



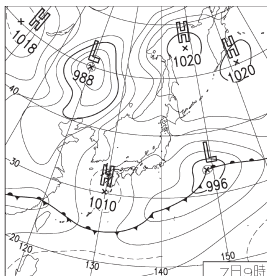
### 14日(水)西から低気圧近づく

西日本は晴れから次第に曇り、夜には九州に前線に伴う活発な雲がかかり、雨が降り出した。沖縄は曇りや雨。北・東日本は日本海側を中心に概ね一日晴れる。



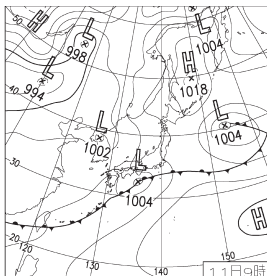
### 3日(土)関東 北東風で曇天

日本海に中心を持つ高気圧が北日本を覆う。関東は日中、4月中下旬の気温の所も。南西諸島と九州南部は曇りや晴れ。その他は概ね晴れ。北海道函館市でキアゲハ初見。



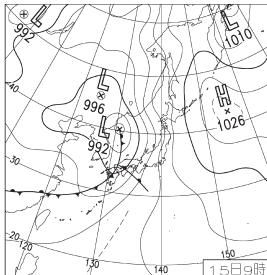
### 7日(水)東北から東海で雷雨

上空寒気の影響で朝から各地で発雷。秋田県由利本荘市笹子で57 mm/1 h。宮城県加美町で35 mm/1 h。南西諸島は前線活動が活発。北海道で低温と日照不足に関する情報を発表。



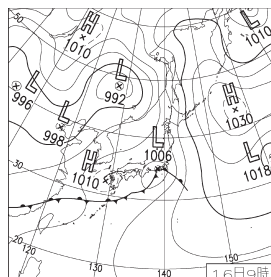
### 11日(日)梅雨前線近傍は雨

日本の南、梅雨前線を低気圧が北東進。南西諸島、山陰から東北南部で雨。北海道、東北北部、九州は大體曇り、四国は晴れ。沖縄県多良間村宮良で148.5 mm/24 hの大雨。

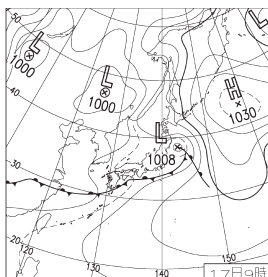


### 15日(木)北陸・東北北部梅雨入り

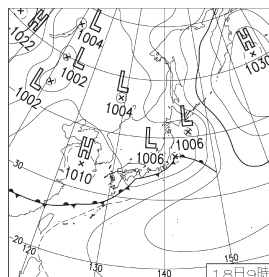
日本海西部の低気圧からのびる前線が、日本を横断。全国的に曇りや雨。九州南部から近畿にかけて豪雨。高知県加美市で311 mm/日、6月の極値を更新。



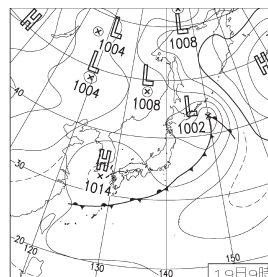
**16日(金) 東海から東北南部で雨**  
梅雨前線の東海沖に低気圧が発生し北東進。東海から東北南部、北海道南部で激しい雨。福島県広野町185 mm/、北海道日高支庁えりも町目黒207 mm/日。



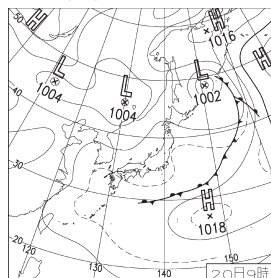
**17日(土) 近畿から東北で晴れ間**  
三陸沖を低気圧が北上、梅雨前線が東・西日本の南岸に停滞。北海道と東・西日本の太平洋側を中心に雨。鹿児島県十島村で60 mm/1 h, 210.5 mm/日の大雨。



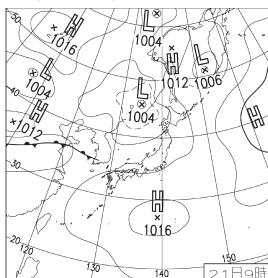
**18日(日) 南西諸島で前線活発**  
沖縄本島～先島諸島で50 mm/1 h以上の雨を観測、与那国町祖納では96.5 mm/1 hの猛烈な雨。北海道太平洋側でも局地的に激しい雨、釧路支庁浜中町茶内で58 mm/1 h。



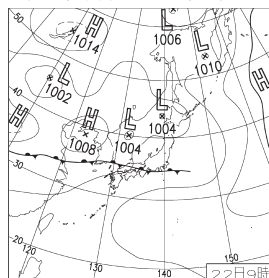
**19日(月) 梅雨の晴れ間**  
梅雨前線が南下、本州付近は西から高気圧に覆われ晴れ。寒気の入った北日本や関東は所々で雷雨。最高気温は北海道を除き7月上旬～下旬並み。甲府市で平年より6.6°C高い33.6°C。



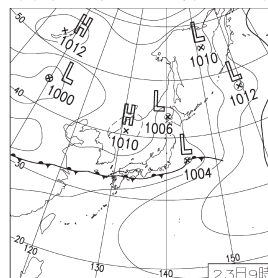
**20日(火) 沖縄・奄美梅雨明け**  
上空の気圧の谷が北日本を通過。梅雨前線は、日本の南海上にあって消散傾向。北日本は曇りや雨。その他は広く高気圧に覆われて梅雨の中休み。各地で真夏日。



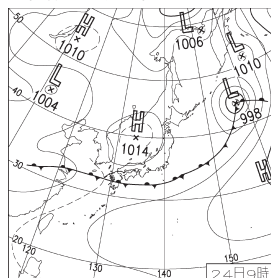
**21日(水) 西日本で真夏日**  
沿海州に上空に寒気を伴った低気圧があり南東進。梅雨前線は華北から中国地方へと伸びる。北・東日本、中国は曇りや所々雨。近畿以西は太平洋高気圧に覆われ晴れて真夏日。



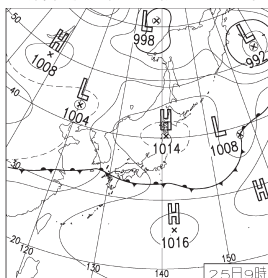
**22日(木) 梅雨前線の活動 活発化**  
九州北部から東海地方に梅雨前線が北停滞、北海道西海上には低気圧が停滞。西・東日本と北海道で雨の他は概ね晴れ。暖湿気が流入した九州北部福岡県添田町で175.5 mm/1 h。



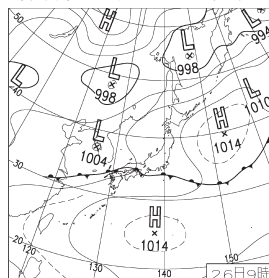
**23日(金) 九州で非常に激しい雨**  
南西諸島で晴れ、東日本で曇り。北日本や西日本では雨や曇り。特に九州や四国・近畿の太平洋側で激しい雨。熊本県五木村で65.5 mm/1 h, 福岡県添田町英彦山で54 mm/1 h。



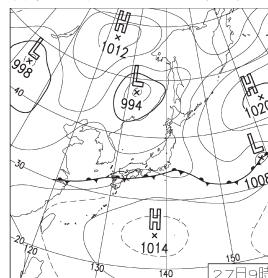
**24日(土) 九州 大雨続く**  
梅雨前線が停滞し九州南部で非常に激しい雨。鹿児島県蒲生町矢止岳で75 mm/1 h, 年間の極値を更新。気圧の谷が通過した北海道は曇りや雨。東北から中国・四国は晴れ一部で霧。



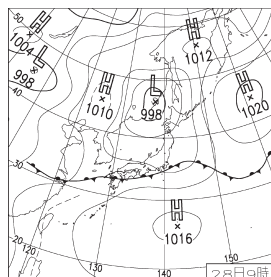
**25日(日) 九州北部で豪雨**  
西日本に停滞している梅雨前線の活動が活発化。西日本～東日本は曇りや雨。その他は高気圧に覆われて概ね晴れ。佐賀県嬉野市63 mm/1 h, 長崎県佐世保市56 mm/1 h。



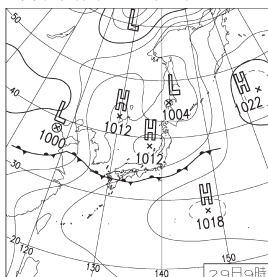
**26日(月) 九州北部で大雨**  
梅雨前線は華中から九州北部を通り東海上にのび停滞。九州北部は大雨。熊本県益城町113.5/1 h, 西日本から東日本は曇りや雨。北海道は高気圧に覆われ全般に晴れ。



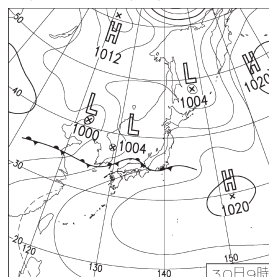
**27日(火) 九州南部で大雨**  
梅雨前線は華南から九州南部を通り、東海上に停滞。北日本や西日本の太平洋側で曇りや雨の他は概ね晴れ。鹿児島県肝付町内之浦で66.5 mm/1 hの大雨。東シナ海で台風第2号発生。



**28日(水) 7月中～下旬の暑さ**  
午前、北海道東部で強い雨。九州南部は引き続き大雨。午後、本州～北海道で雷雨。埼玉県熊谷市で直径38ミリのひょう。最低・最高気温共に、九州を除いて7月中～下旬の暑さ。

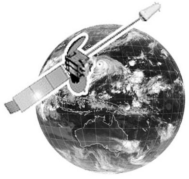


**29日(木) 最高気温35°C**  
九州と北海道北部で雨や曇りの他は概ね晴れ。関東以西は真夏日続く。岐阜県多治見市や静岡県浜松市佐久間は最高気温35°Cに達する。台風第2号は華南で熱帯低気圧に。



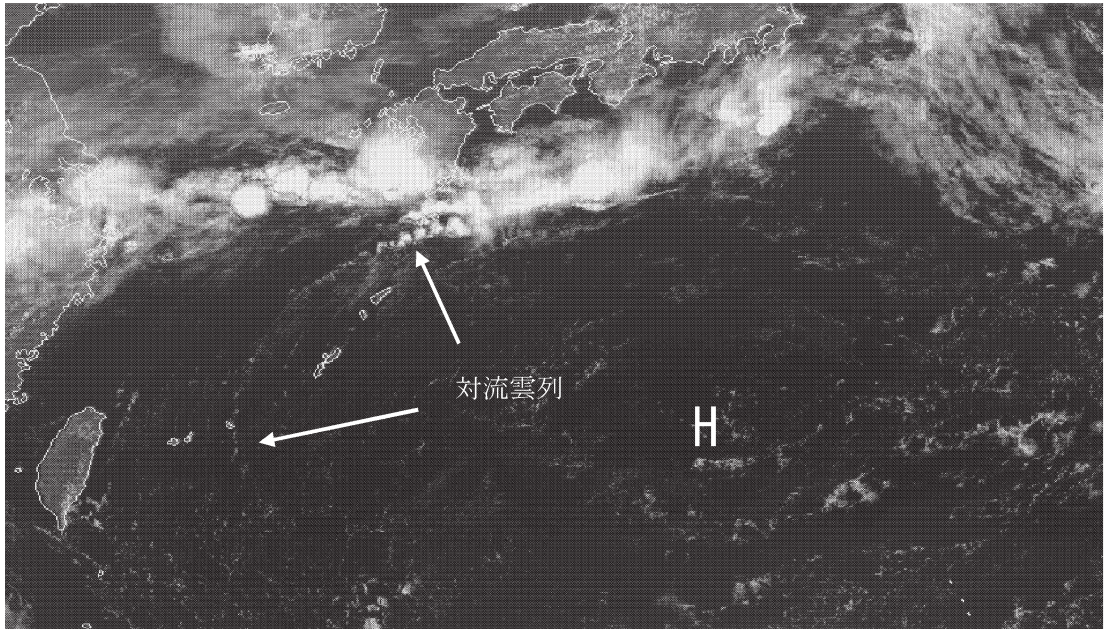
**30日(金) 近畿・九州で熱帯夜**  
梅雨前線は近畿東海付近に停滞。東日本～西日本は曇りや雨。北日本や南西諸島は高気圧に覆われて晴れ。新潟県長岡市で59 mm/1 h, 福岡市の最低気温7月下旬並みの25.6°C。





## 今月のひまわり画像—2006年6月

### 太平洋高気圧の縁辺で発生した対流雲列



可視画像 (2006年6月27日12時)

梅雨期間も後半に入ると太平洋高気圧の西への張り出しが強まり、西日本の梅雨前線は九州付近まで北上して沖縄地方は梅雨明けとなる。今回は、高気圧周辺の晴天域とその縁辺に沿って発生した対流雲列が可視画像で明瞭に捉えられたので、ここで紹介する。

図は6月27日12時の可視画像である。日本の南海上に高気圧があって、その北側の本州沿岸には梅雨前線に対応する雲バンドが東西に伸びて、この雲バンドの所々で活発な積乱雲が見られる。地上天気図では図に示したH印付近に高気圧の中心があって、この高気圧は西に張り出し東シナ海方面まで勢力を広げている。画像から分かるように高気圧圏内では晴天域に覆

われ、この晴天域は東西に伸び、西側では華中沿岸まで広がっている。また、南西諸島ではこの晴天域に覆われ晴となっている。

一方、沖縄の西海上は高気圧の縁辺に位置し、南東風と南西風の合流しやすい場となり、宮古島の南から沖縄の西を通り屋久島付近まで矢印で示す対流雲がライン状に形成され対流雲列となり、その長さは約1000 kmに達している。この対流雲列は高気圧の縁辺に沿って発生したもので、先端付近では発達した積乱雲となっている。

(気象衛星センター)